

## 救急科

研修責任者:井上 茂亮

### 研修責任者からのメッセージ

救急医療は、限られた時間の中で適切な判断を行い、患者の命を守る最前線の現場です。初期臨床研修では、医師としての基礎を築くだけでなく、実践的なスキルを磨く貴重な時間となります。このプログラムを通じて、医師としての自信と責任感を身につけ、患者に寄り添い、チームで協力して診療を行う力を養ってください。皆さんの成長を全力で支援し、心から応援しています。

---

### 一般目標

医師としての基本的な価値観と専門的知識を身につけ、科学的根拠に基づいた診療ができるようになることを目指す。救急医療においては、迅速で的確な臨床判断を行う能力を養い、患者およびその家族に対する適切な接遇や説明を実践する。

---

### 行動目標

1. 救急医学および救急医療に関する基本的な知識を習得し、頻度の高い救急症候に対して適切な初期対応ができるようになる。
2. 臨床推論を実践し、患者の問題解決に科学的根拠と臨床経験を活用できる。
3. 患者の心理社会的背景に配慮し、患者中心の診療計画を立案・実行できる。
4. 多職種との連携を図り、保健・医療・福祉の視点を含む包括的な診療を実践する。

---

### 方略

1. 知識の習得
  - 症例ベースの学習（Problem-Based Learning）を通じて、頻度の高い症候・疾患に対する鑑別診断や初期対応を習得する。
  - 研修期間中、症例カンファランスや指導医とのディスカッションを通じて、最新の医学知識を確認・応用する。
2. 技術の習得
  - 臨床現場における診察技術（視診、触診、聴診）や緊急手技（気道確保、胸骨圧迫、除細動、静脈路確保など）を実践的に経験する。
  - 必要な検査（心電図、動脈血ガス分析、超音波検査など）を指導医のもとで実施し、解析方法を習得する。
3. 態度・習慣の形成
  - カンファランスで症例をプレゼンテーションすることで、主体的に学ぶ習慣を身につける。

- 指導医や多職種との連携を通じて、チーム医療の重要性を理解し、適切なコミュニケーション能力を育む。

---

## 週間スケジュール

平日（月～金）：

- **8:30～9:30：新患カンファランス（全員）**  
前日の新規入院患者について、研修医がプレゼンテーションを行い、指導医がフィードバックを提供。
- **9:30～17:30：ER/HCU/ICUでの研修（全員）**  
担当患者の診療、指導医とのディスカッション、処置・紹介状作成を実施。

火曜日

- **14:00～14:40 ICU 教授回診（ICU 担当）**

ICU 入院中の患者に関して研修医がプレゼンテーションを行い、それに対して指導医が適切なフィードバックを提供することで、集中治療に関する知識を深める。

月曜日、木曜日（曜日変更あり）

- **15:00～15:30 救急・ICU レクチャー・実習・ベッドサイドティーチング（全員）**

ER/ICU における代表的な疾患と病態に関するレクチャーおよびスキルストラボ等での救急手技実習を通して、救急医療に関する知識と技術を習得する

---

## 評価方法

1. 症例報告とプレゼンテーション
  - 新患カンファランスにおけるプレゼンテーションを通じて、知識の深さ、論理性、コミュニケーション能力を評価。
2. 臨床スキルの評価
  - 指導医の観察に基づき、緊急手技や診察技術の実践能力を評価。
3. 多職種連携の評価
  - 他職種との連携における態度や行動をフィードバック。
4. 最終評価
  - 研修終了時に、全期間を通しての症例経験・知識習得状況を総合的に判断。